

都市みらい通信 IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development



【目次】

- | | |
|--|-----|
| ・ 第 20 回理事会の開催 | P 1 |
| ・ 北 8 西 1 地区第一種市街地再開発事業特定業務代行者
選定委員会の結果について | P 2 |
| ・ 令和元年度 土地活用モデル大賞（第 16 回）の募集について | P 3 |
| ・ 土地活用モデル大賞受賞地区（過去 5 年間：平成 26 ～
30 年度） | P 5 |
| ・ 機構の活動状況 | P 6 |

§ 第 20 回理事会の開催

去る 6 月 4 日、第 20 回理事会を都市計画会館会議室において開催いたしました。

当機構理事長挨拶、国土交通省楠田都市計画課長の来賓挨拶の後、下記の議案が審議され、原案どおり議決、承認されました。

また、下記の報告事項についての報告がありました。

当日の議題は以下のとおりとなっております。

○理事会

議 案 1. 平成 30 年度事業報告（案）及び決算（案）について

議 案 2. 公益目的支出計画実施報告書（案）について

議 案 3. 理事及び監事の推薦について

議 案 4. 第 8 回定時評議員会の招集について

報告事項 1. 財産の運用状況について

報告事項 2. 賛助会員の状況について



§ 北 8 西 1 地区第一種市街地再開発事業特定業務代行者選定委員会の結果について

北海道の玄関口である JR 札幌駅北口に近接した交通利便性の高い地区である一方、現在の土地利用状況としては、地区内の既存建物のほとんどが老朽化していることに加え、その他の土地は青空駐車場や空地などの低未利用地が占めており、土地の合理的かつ健全な土地利用と都市機能の更新が十分とはいえ、都市機能・都市防災・都市景観等の観点から課題を抱えております。本事業では札幌駅北口に残る低未利用地において、土地の集約化と高度利用を行い、商業・業務・宿泊・居住機能等の複合的な土地利用を図ることで都市機能を更新し、併せて老朽化した建物の更新による防災性の向上や、地区内のオープンスペースを適切に確保することで、地域に貢献する魅力ある複合市街地の形成を実現することを目的としています。

計画建物が約 180 m の超高層建築物であるとともに、住宅、店舗、事務所、サービス、ホテルといった多様な複合用途が導入される計画であること等をふまえて、迅速かつ円滑な事業推進を図るために、事業の早い段階から設計や施工計画に関する高い技術力の導入が求められていることから、本募集では、「総合建設企業」単独企業、又は複数企業によるグループ（共同企業体）で構成される「特定業務代行者」を選定するために公募を行いました。

中立・公正な第三者機関として、当機構が当該再開発事業の特定業務代行者の選考事務局を務め、当機構内に土地利用計画・計画制度・市街地整備等の学識経験者、事業推進及び事業採算性等の専門家、事業推進及び住宅供給等の専門家による委員 3 名で構成する「北 8 西 1 地区第一種市街地再開発事業特定業務代行者選定審査委員会」を設置して、北 8 西 1 地区第一種市街地再開発事業特定業務代行者選定に係る募集要項及び特定業務代行者選定審査基準を策定し、これに基づき特定業務代行者の選定を公平・公正・透明性を確保し厳正に実施し、当審査委員会において、厳正かつ公平に審査をした結果「大成建設・伊藤組土建 共同企業体」の提案を組合に答申し、組合において協議した結果、平成 30 年 11 月、特定業務代行者に選定されました。

【計画概要】

計画地：北海道札幌市北区北 8 条西一丁目

区域面積：約 2.1 ha

項目	(A 棟)	(B 棟)
構造	鉄筋コンクリート造、鉄骨造	鉄筋コンクリート造、鉄骨造、
主要用途	住宅、店舗・サービス、事務所、駐車場等	ホテル
階数	地上 48 階、地下 1 階	地上 14 階、地下 1 階
高さ	約 180 m	約 50 m
敷地面積	約 9,710 m ²	約 1,970 m ²
建築面積	約 7,030 m ²	約 1,430 m ²



【事業スケジュール（予定）】

準備組合設立	：平成21年	7月31日
都市計画決定告示	：平成26年	8月22日
都市計画変更決定告示	：平成29年	9月26日
都市計画変更決定告示	：平成30年	12月19日
組合設立認可	：令和元年	7月頃（予定）
権利変換計画認可	：令和元年度	（予定）
解体工事着工	：令和元年度	（予定）
本体工事着工	：令和元年度	（予定）
工事完了公告	：令和5年度	（予定）



イメージパース

§ 令和元年度 土地活用モデル大賞（第16回）の募集について

（1）土地活用モデル大賞とは

活気に満ちた地域社会の実現・地方創生の推進を図るため、生活サービスを効率的に提供する拠点機能をコンパクト化し、地域の雇用や豊かな生活環境を創出する総合的・効果的取り組みを推進することが求められています。

当機構では、平成16年度の第1回以降、こうした課題を踏まえて土地の有効活用や適切な維持管理に取り組み、土地活用の模範的事例、「成功モデル」となる事例を募集し、優れた事例について「国土交通大臣賞」をはじめとする表彰を行い、優れた土地活用を全国的に紹介しその普及を図ってきました。

本年度は、最近の土地活用の動向等を踏まえ、昨年度に続き募集要領等の見直しを行ったうえで、第16回となる募集を行います。



（2）応募資格等

【対象とする土地活用事例】

地域の課題を認識しその解決に向けて、土地の活用・再生利用・保全利用を図り、都市の生産性向上や地方創生などに取り組むプロジェクト



【応募資格】

土地活用に携わった事業者（法人（法人内のチームを含む））、まちづくり団体（都市再生推進法人を含む）、NPO、任意団体（TMO など）、個人、及び地方公共団体

（3）応募方法

応募しようとする方は、『応募申請書』、『応募図書』を当機構ホームページ（URL/QR コード）からダウンロードのうえ作成し、応募先まで郵送またはご持参にてご応募ください。

http://www.toshimirai.jp/tochi_model/tochitaishoutop.htm



募集期間：令和元年（2019年）6月3日（月）～7月22日（月）午後5時（必着）

（4）審査委員

委員長	岸井 隆幸	日本大学工学部特任教授
委員	浅見 泰司	東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授
	足立 慎一郎	株式会社日本政策投資銀行地域企画部担当部長
	飯田 英明	一般財団法人日本不動産研究所グランドフェロー
	井出 多加子	成蹊大学経済学部経済経営学科教授
	福岡 孝則	東京農業大学地域環境科学部造園科学科准教授
	武藤 祥郎	国土交通省 土地・建設産業局 不動産市場整備課長

（委員：五十音順）

（5）表彰

- ・ 国土交通大臣賞 …… 1点を予定
- ・ 都市みらい推進機構理事長賞 …… 1点を予定
- ・ 審査委員長賞 …… 1点を予定

表彰の対象は「土地活用プロジェクト」とし、受賞プロジェクトは、本年10月の土地月間の期間に表彰する予定です。また、国土交通省ホームページの「代表的な土地有効活用事例」、および、当機構ホームページにて公表します。

（6）主なスケジュール

- ・ 募集締切： 令和元年 7月22日（月）午後5時（必着）
- ・ 1次審査： 令和元年 8月初旬
- ・ 現地調査： 令和元年 8月上旬～9月中旬
- ・ 最終審査： 令和元年10月上旬
- ・ 表彰： 令和元年10月30日（水）



§ 土地活用モデル大賞受賞地区（過去5年間：平成26～30年度）

年度	国土交通大臣賞		都市みらい推進機構理事長賞		審査委員長賞	
	受賞プロジェクト	所在地	受賞プロジェクト	所在地	受賞プロジェクト	所在地
第11回 平成26年度	区画整理との一体的 施行による大津駅 西地区第一種市街地 再開発事業	滋賀県 大津市	練馬駅北口区有地 活用事業（coconeri）	東京都 練馬区	水の町屋七日町御殿塚	山形県 山形市
					地域に開かれた住商 一体のサスティナブル コミュニティ - 光が丘エコタウン -	神奈川県 相模原市
第12回 平成27年度	小杉町3丁目中央地 区第一種市街地再開 発事業（セントア武 蔵小杉）	神奈川県 川崎市	釜石市上中島町復興 公営住宅整備事業	岩手県 釜石市	浜見平地区複合施設 整備事業（BRANCH CH茅ヶ崎）	神奈川県 茅ヶ崎市
					もりのみやキューズ モールBASE	大阪府 大阪市
					自然の森と地下鉄駅 が一体となった新し い都心空間の創造 （大手町タワー）	東京都 千代田区
第13回 平成28年度	「日本橋室町東地区」 「日本橋本町二丁目 特定街区開発」	東京都 中央区	鋸南町都市交流施設 道の駅保田小学校	千葉県 鋸南町	西富久地区第一種 市街地再開発事業 Tomihisa Cross	東京都 新宿区
					宮崎駅西口拠点施設 整備事業	宮崎県 宮崎市
					多賀城駅北地区 第一種市街地再開 発事業	宮城県 多賀城市
					芝浦水再生センター 再構築に伴う上部利 用事業	東京都 港区
第14回 平成29年度	京橋二丁目西地区第 一種市街地再開発事 業（京橋エドグラン）	東京都 中央区	片町A地区第一種 市街地再開発事業	石川県 金沢市	綾部市空き家活用定 住促進事業	京都府 綾部市
			小松駅周辺整備 プロジェクト	石川県 小松市	岐阜大学医学部等跡 地整備事業（みんな の森 ぎふメディア コスモス）	岐阜県 岐阜市
					浦和美園E-フォレ スト	埼玉県 さいたま市
第15回 平成30年度	氷見市北大町 市有地利活用事業	富山県 氷見市	公園・広場と交流空 間の一体的な整備 「民→公→民」スキ ームによる住民自立型 コミュニティ施設の 運営 辻堂西口YU-ZU ルーム	神奈川県 茅ヶ崎市	おりづるタワー	広島県 広島市



§ 機構の活動状況

日	5月	日	6月
22	監事監査	4 24	第20回理事会 第8回定時評議員会

【機構関係諸団体】

《都市地下空間活用研究会》

10	地下利活用検討分科会コア会議	5	監事監査
27	講演会・企画運営委員会・企画運営小委員会合同会議	18	第34回評議員会・第33回定時総会
		18	地下研・UIT 合同記念講演会<宇都宮 LRT の進捗状況と今後の展開 - LRT、バス、デマンドバスを組み合わせた交通まちづくりと低炭素な沿線まちづくり ->
		18	意見交換会

《アーバンインフラ・テクノロジー推進会議》

13	第31回技術研究発表会 エントリー募集開始	3	第1回スマートシティ・ワーキンググループ
		7	第33回企画運営部会
		12	平成30年度監事監査
		18	第49回評議員会・第33回通常総会
		18	地下研・UIT 合同記念講演会<宇都宮 LRT の進捗状況と今後の展開 - LRT、バス、デマンドバスを組み合わせた交通まちづくりと低炭素な沿線まちづくり ->
		18	意見交換会
		20	第52回技術研究発表委員会・小委員会

《コンパクトなまちづくり推進協議会》

8	コンパクトなメルマガ 第4号 発出	4	コンパクトなメルマガ 第7号 発出
17	第1回コンパクトなまちづくり大賞、 第1回先進的まちづくり大賞 第2回審査委員会	7	コンパクトなメルマガ 第8号 発出
21	コンパクトなメルマガ 第5号 発出	17	コンパクトなメルマガ 第9号 発出
27	立地適正化計画実務勉強会 概要等更新版発出		
27	第1回コンパクトなまちづくり大賞、 第1回先進的まちづくり大賞受賞団体公表		
28	コンパクトなメルマガ 第6号 発出		
30	立地適正化計画実務勉強会（松山市）まちづくり講演会・ 立地適正化計画事業講習会・意見交換会 開催		
31	立地適正化計画実務勉強会（松山市）立地適正化計画 現地視察研修 開催		

（一財）都市みらい推進機構

住所 東京都文京区関口1-23-6
プラザ江戸川橋ビル201号
電話 03-5261-5625
FAX 03-5261-5629
Email kikaku@toshimirai.jp

ホームページもご覧下さい
<http://www.toshimirai.jp/>

当機構は、「新しい都市拠点形成等の都市活性化に関する総合的な調査・研究、情報・資料の収集等、民間の技術と経験を活かしつつ、地域社会と調和した活力ある都市づくりの推進を図ること」を目的として、昭和60年7月29日に設立された財団法人です。

- ・都市再生整備計画事業支援
- ・都市拠点開発・都市再生支援
- ・中心市街地活性化支援
- ・低・未利用地有効活用支援
- ・エリアマネジメント企画 他